

2021年3月期 第2四半期 決算説明会（本編）

2020年11月16日



MIRAIT

株式会社ミライト・ホールディングス

本日のご説明

I

2021年3月期 決算概況

1

第2四半期決算

2

修正業績予想

3

トピックス

II

今後の経営について

(注) 本資料において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

登壇者

スピーカー

中山 俊樹 (代表取締役社長)

塚本 雅一 (取締役財務部長)

青山 幸二 (取締役経営戦略部長)

梶 明夫 (NTTPT長)

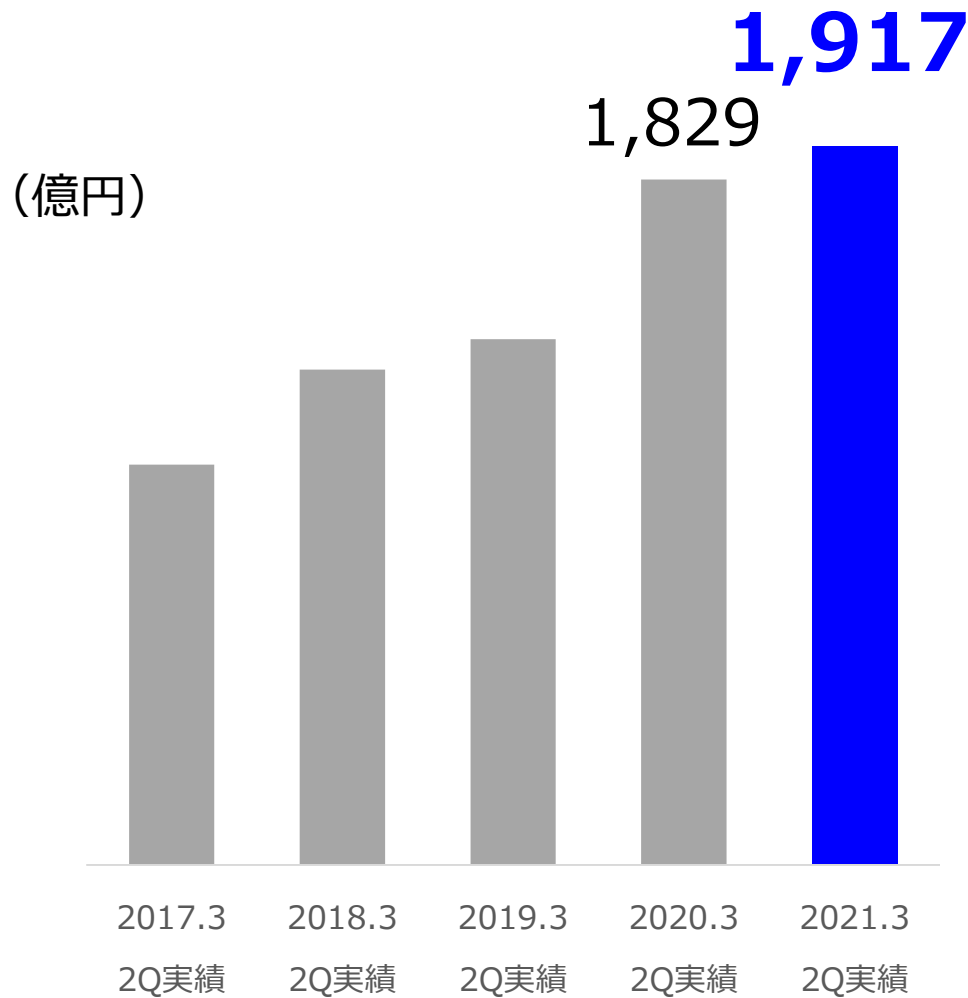
永松 則行 (モバイルPT長)

高屋 洋一郎 (ソリューションPT長)

第2四半期決算



売上高推移



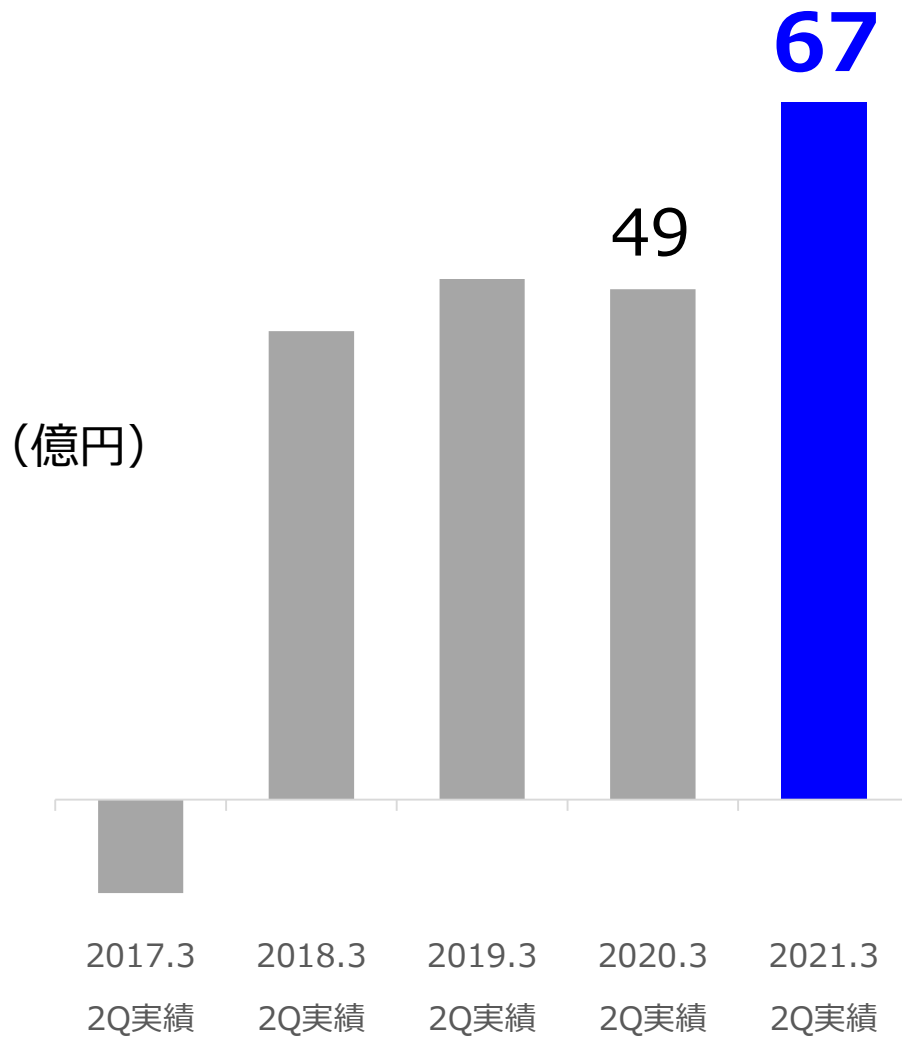
5期連続増収

(対前期 +88億円)



過去最高更新

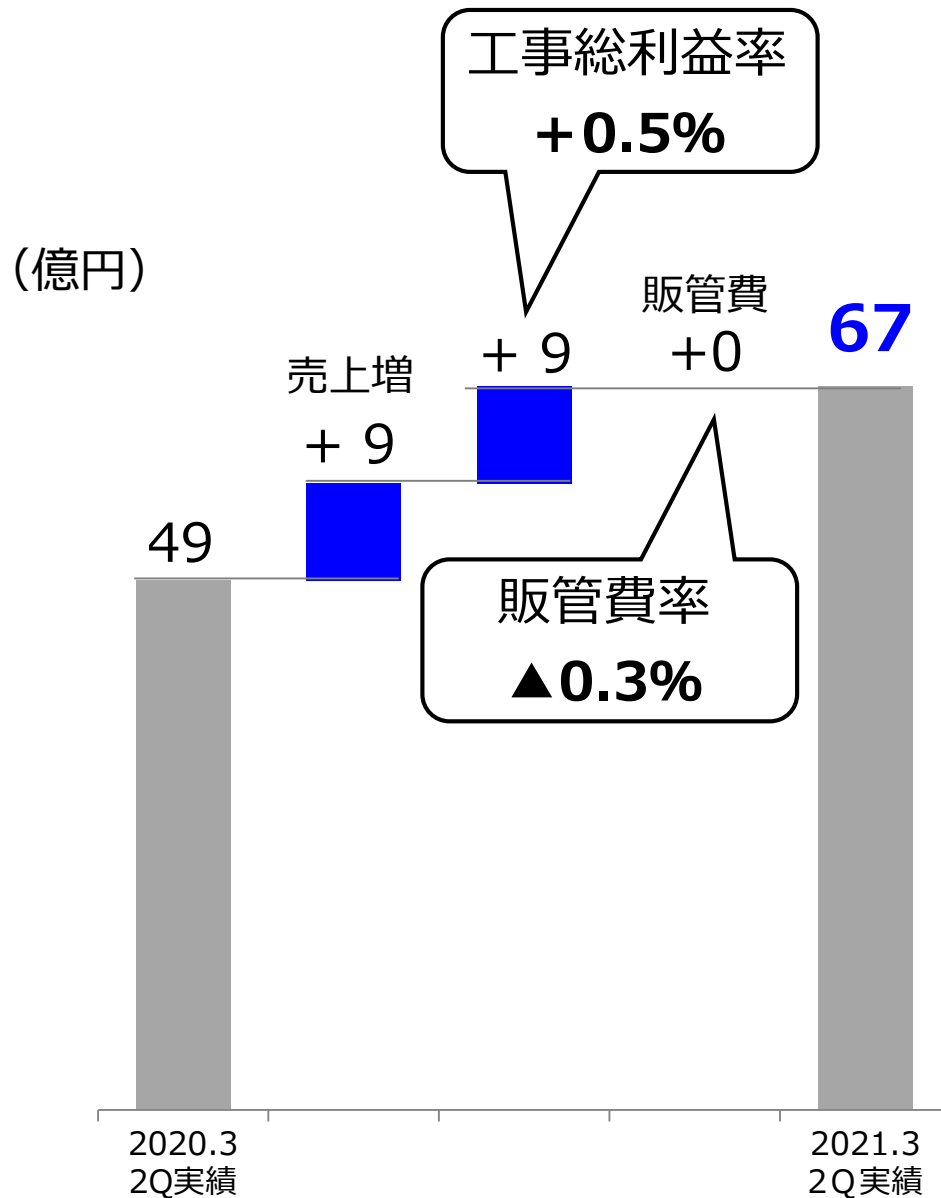
営業利益推移



18億円増益

過去最高更新

営業利益



67億円

(対前期 +18億円)

- 統合シナジー効果
- 利益率上昇
- 業務効率化の推進
- ▲ 一部工事の遅れ

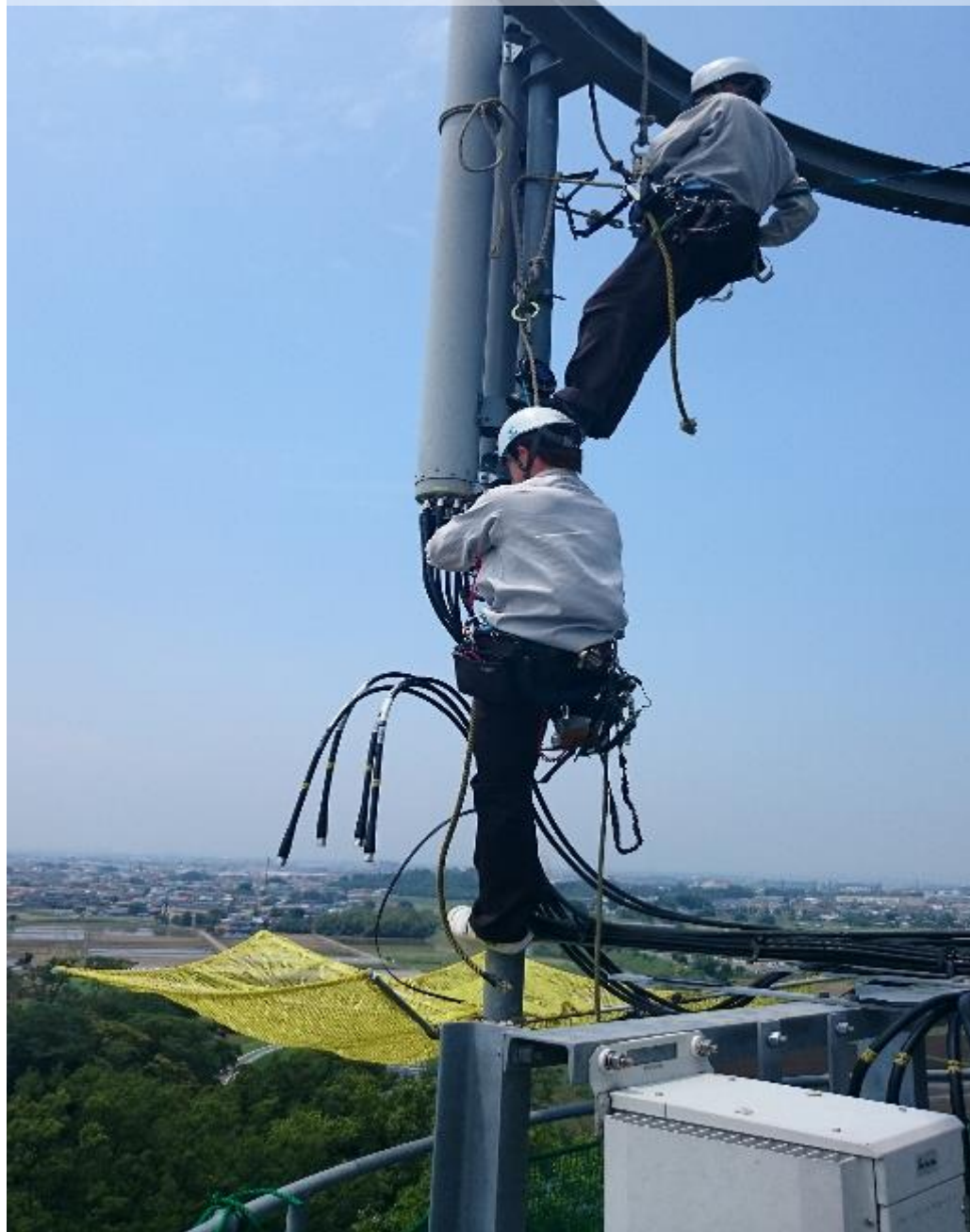


売上高
683億円
(対前期 +26億円)

- 設備運營業務
- アクセス工事

○プラス要因
▲マイナス要因

マルチキャリア事業



売上高
398億円
(対前期 +11億円)



- 楽天工事全国展開
- CATV工事
- ▲ 一部工事の遅れ

○ プラス要因
▲ マイナス要因

環境社会 イノベーション事業



売上高
258億円
(対前期 ▲7億円)

- 空調・上下水道工事
- ▲メガソーラー

○プラス要因
▲マイナス要因

ICT ソリューション事業

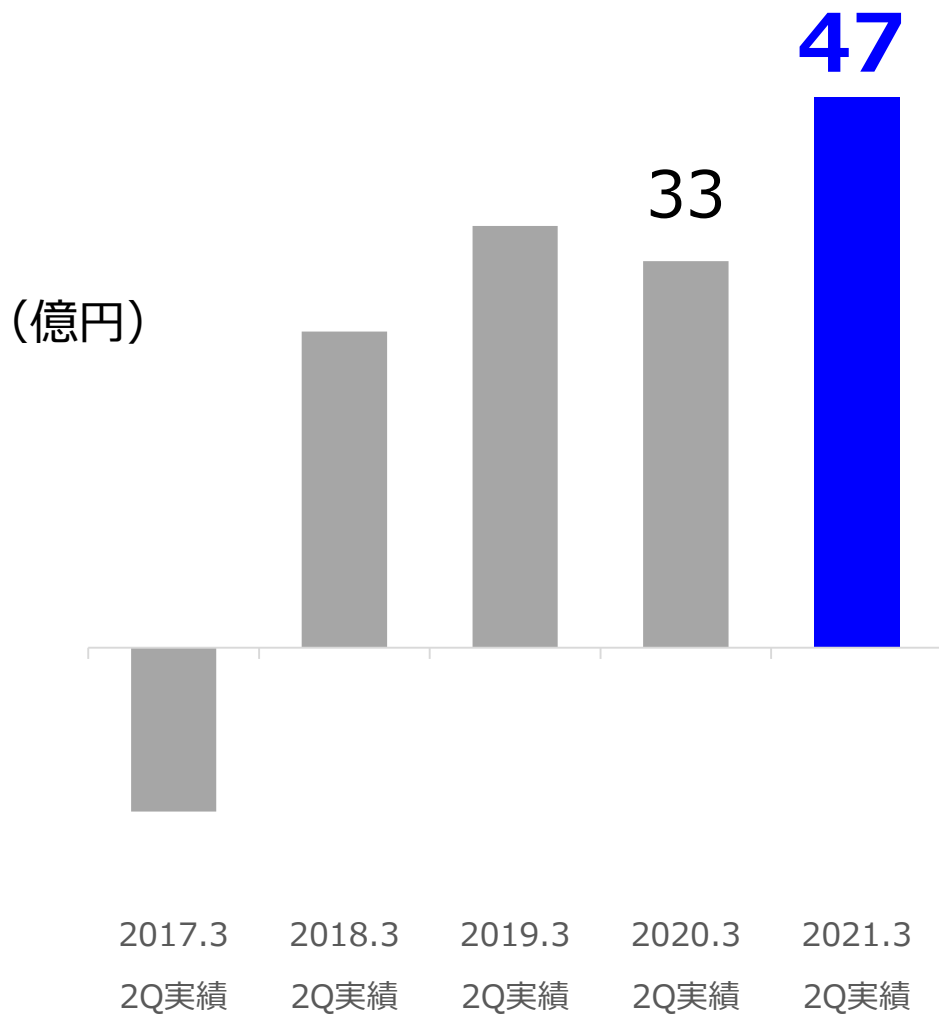


売上高
577億円
(対前期 +58億円)

- 国内LAN・Wi-Fi
- 物販
- ソフト
- ▲ラントロビジョン


○プラス要因
▲マイナス要因

当期純利益推移



14億円増益

過去最高更新



2021年3月期 修正業績予想

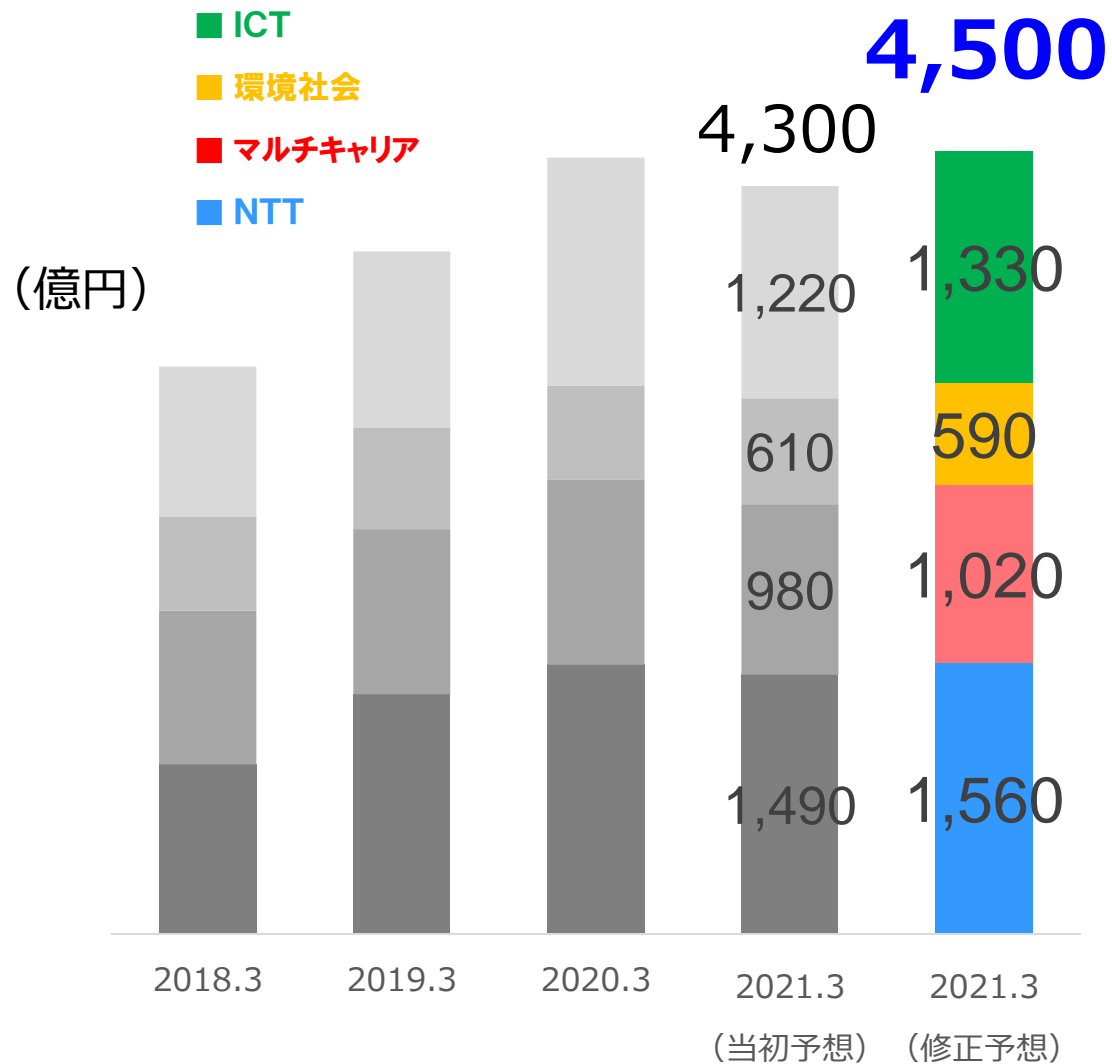
修正業績予想（2021年3月期）

受注高	4,300億円
売上高	4,350億円
営業利益	220億円
当期利益	155億円



受注高	4,500億円	(+200億円)
売上高	4,450億円	(+100億円)
営業利益	230億円	(+ 10億円)
当期利益	160億円	(+ 5億円)

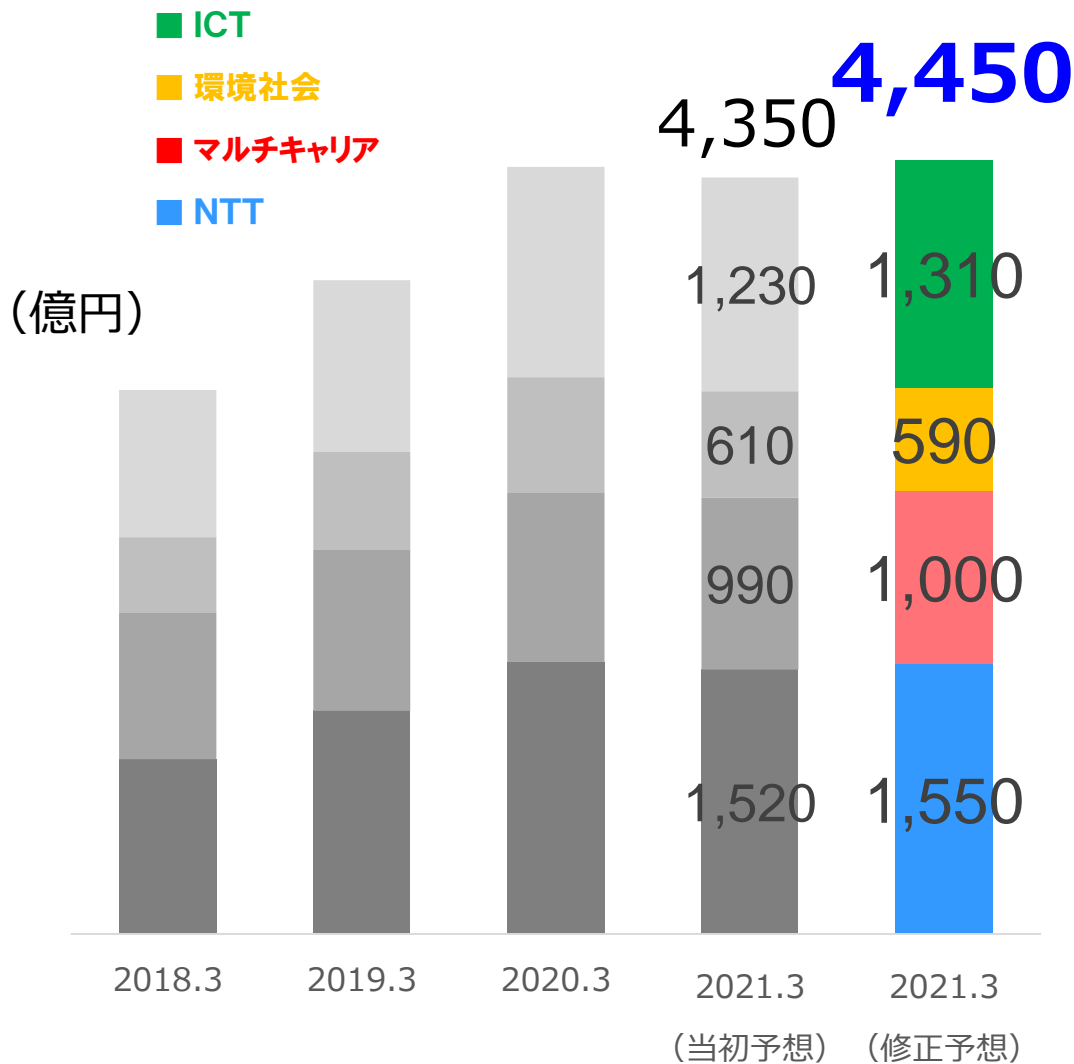
受注高推移



当初予想より

200億円増

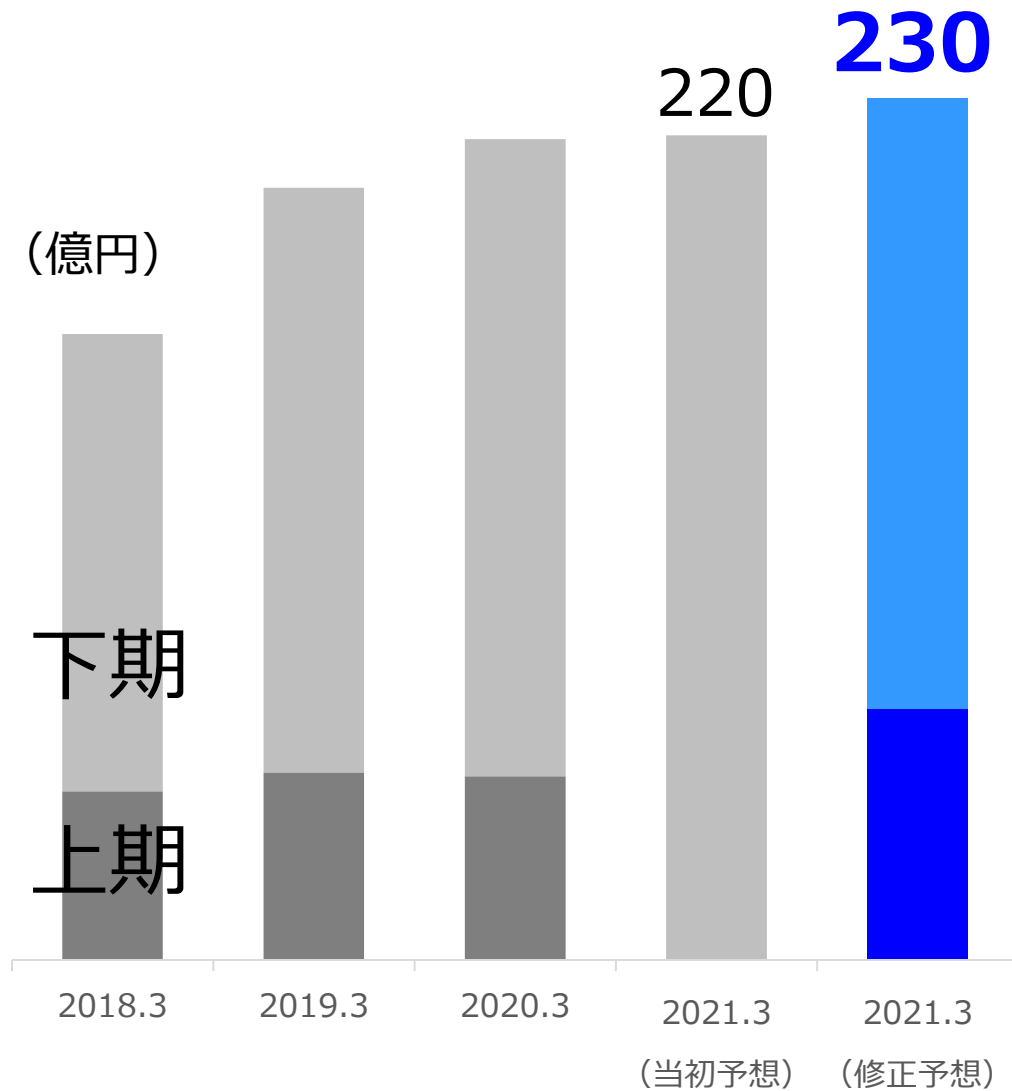
売上高推移



当初予想より

100億円増

営業利益推移

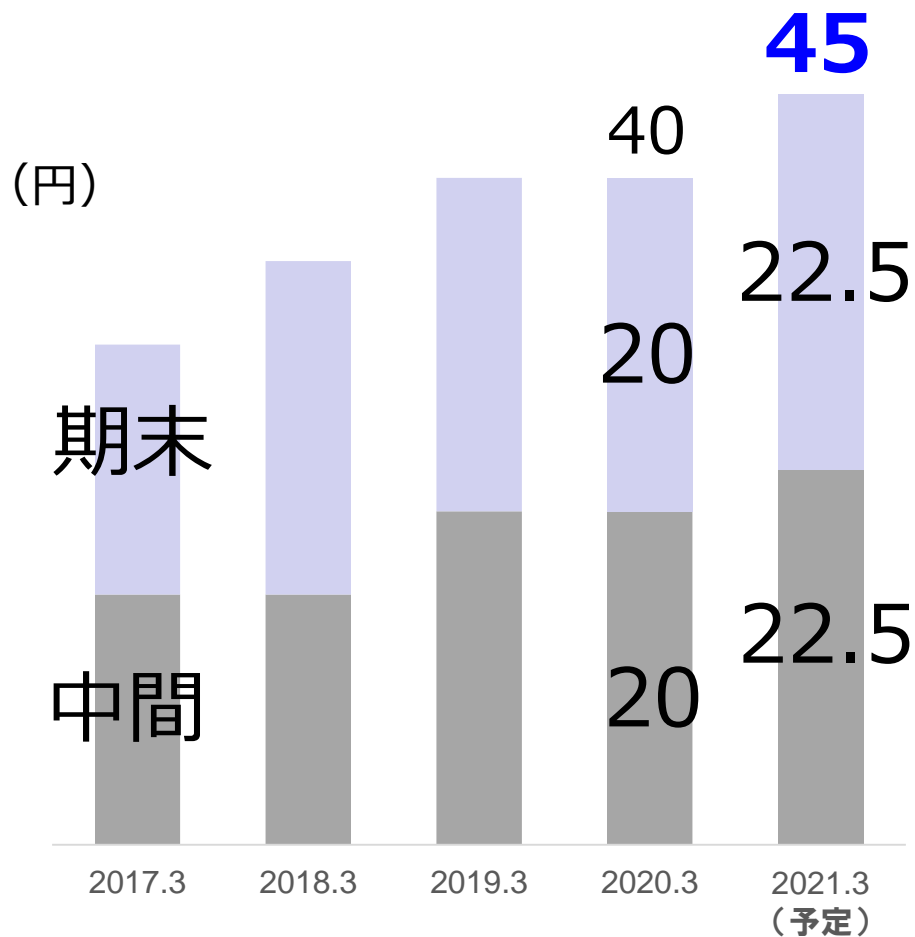


当初予想より



10億円増益

配当予想



1株当たり配当金
40円

45円
(5円増配)

配当性向	37.6%	24.1%	※ 23.6%	26.7%	30.3%
------	-------	-------	---------	-------	-------

※2019年3月期の総還元性向は、経営統合に伴う負ののれん影響額を除いた数値で算出。

<参考>

自己株取得	25億円	-	-	104億円	未定
-------	------	---	---	-------	----

トピックス



マルチスキル者育成

固定・モバイルの複合実施



神戸ハイパーテクノポート



昇降訓練



アンテナ設置

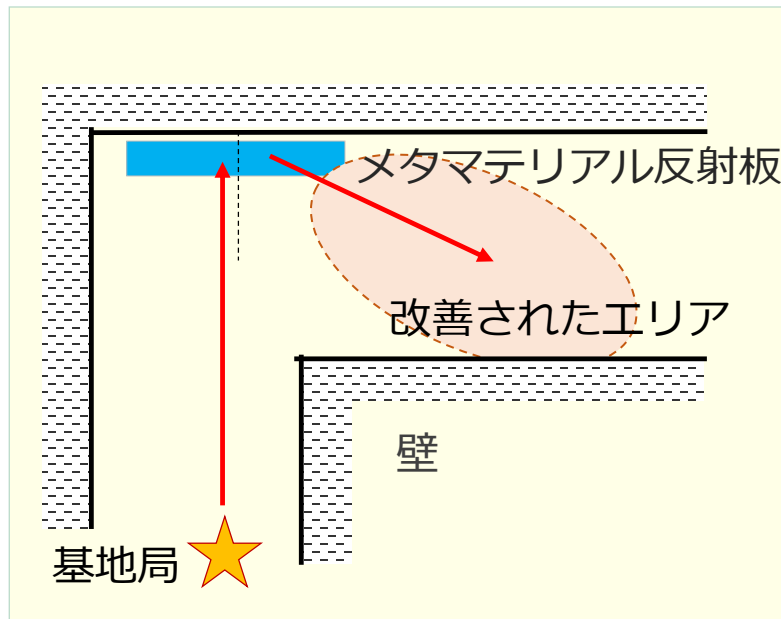


市川研修センタ

ローカル5G① – 無線エリア構築ソリューション –

ローカル5G導入を検討している
企業に対して一括サポート

○反射板によるエリア改善ソリューションを提供



5Gラボ開設予定
(ミライト新木場ビル)

ローカル 5G② – 5Gゴルフ –

次世代5Gゴルフ体感イベントを開催



8K映像配信



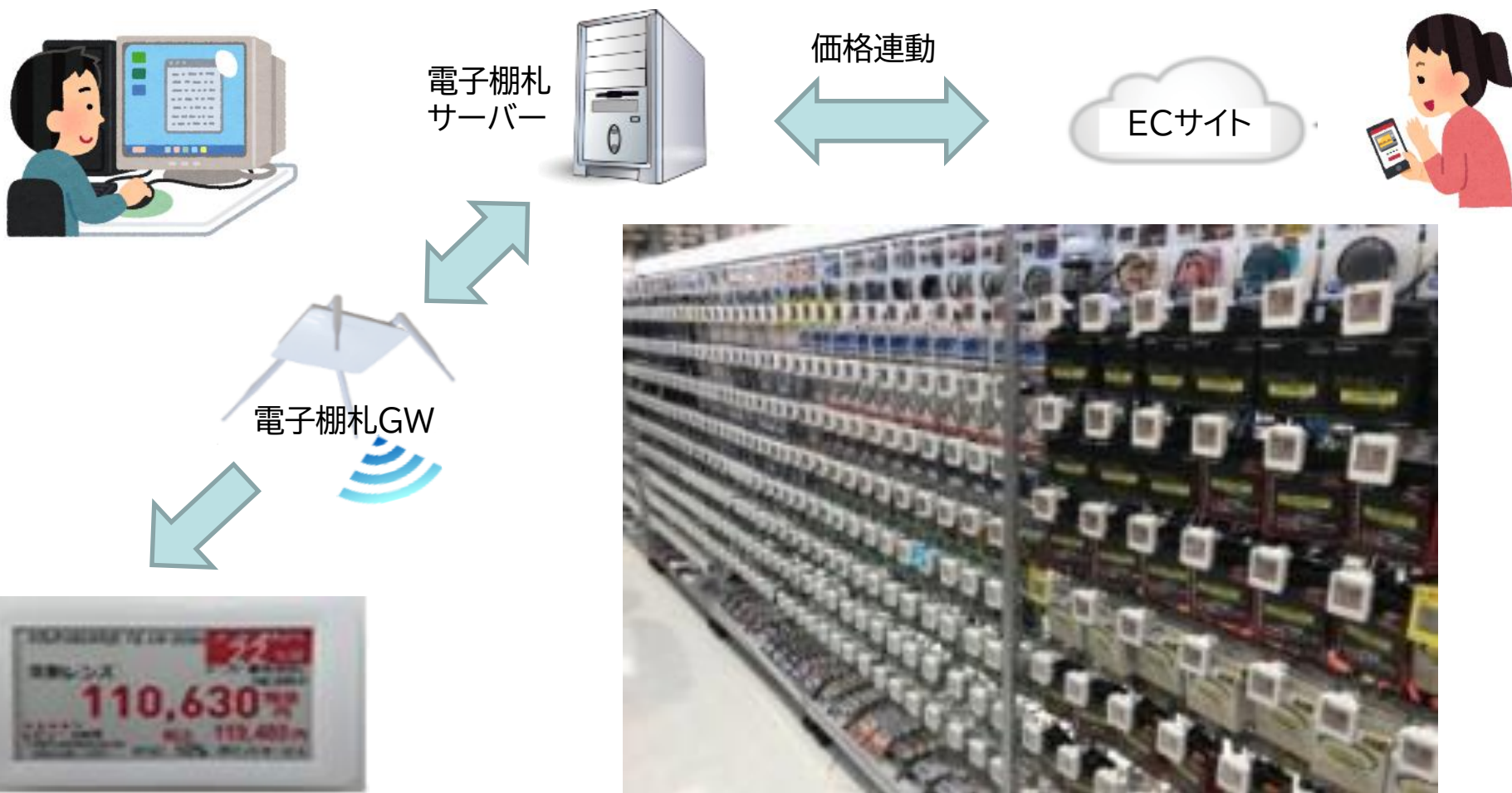
落下地点予測



3DマップVR視聴

D X - 「電子棚札」システム -

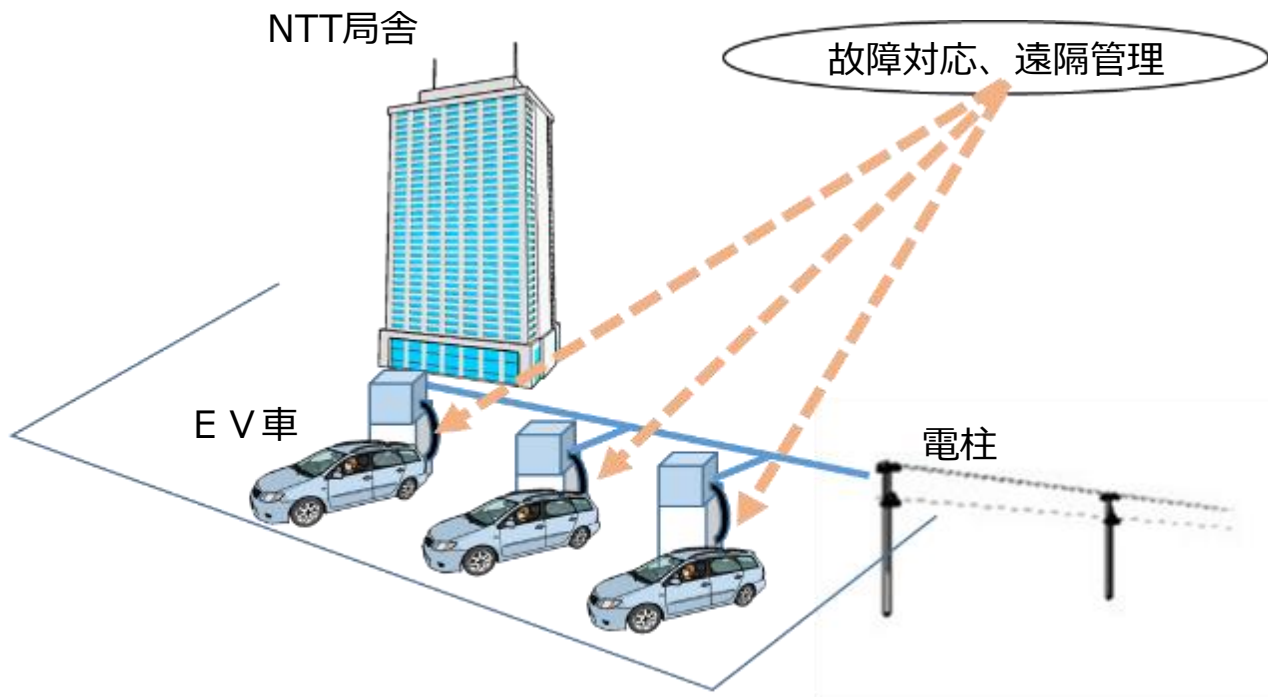
10万点以上の棚札同時更新



E V 充電器設置事業

国内最大規模の施工実績

○NTT局駐車場におけるEV充電器設置工事



設置後の通信・動作確認



設置後の状況

注意事項

この資料における予想数値に関する記述・言明は、当社の現時点での計画、見通しにもとづく将来の予測であります。

諸条件の変化により実際の業績は、本資料の予想とは大きく異なる可能性があります。

従いまして、本資料における予想値が将来にわたって正確であることを保証するものではないことをご承知おき下さい。

株式会社ミライト・ホールディングス

今後の経営について



MIRAIT
GROUP

ミライトグループの軌跡

2018年10月・2019年1月
3社経営統合

10年前...

2010年10月
3社経営統合

2010年度

人員 7,200人

売上 2,466億円

営業利益 (率) 49億円 (2.0%)

2012年10月
事業再編成

2012年度

7,400人

2,710億円

108億円 (4.0%)

2016年6月
グローバル事業拡大

2016年度

8,700人

2,832億円

100億円 (3.5%)

2019年度

12,600人

4,411億円

219億円 (5.0%)

新

(株)ミライト・ホールディングス

大明(株)

(株)東電通

(株)コミュニチュア

合併

新

(株)ミライト

新

(株)ミライト・テクノロジーズ

商号変更

(株)ミライト・ホールディングス

(株)ミライト・ホールディングス

(株)ミライト

(株)ミライト・テクノロジーズ

新

Lantrovision(S)Ltd

'16 (6月)

(株)ミライト・ホールディングス

(株)ミライト

(株)ミライト・テクノロジーズ

Lantrovision(S)Ltd

新 (株)TTK

'18 (10月)

新 (株)ソルコム

'19 (1月)

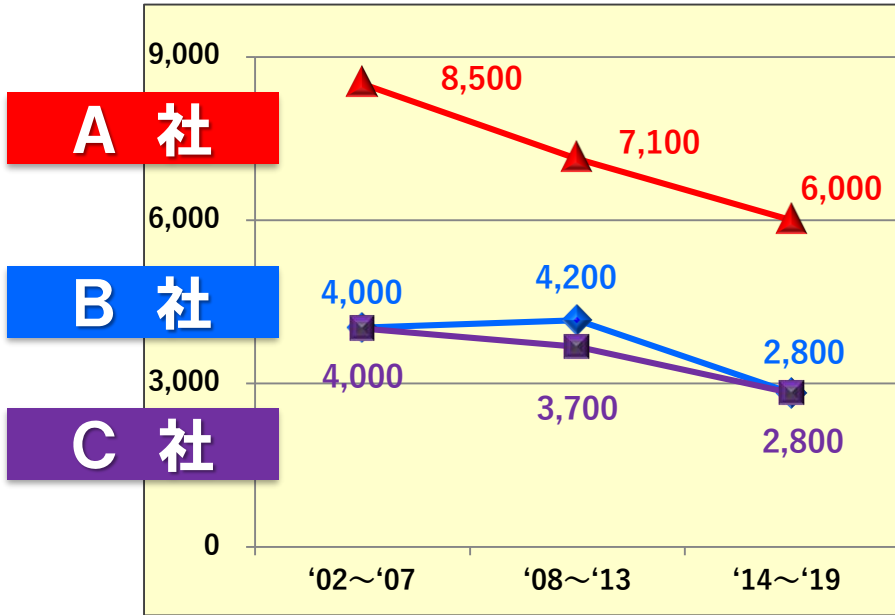
新 四国通建(株)

'19 (1月)

事業環境の変化

■ 通信キャリア設備投資は減少傾向

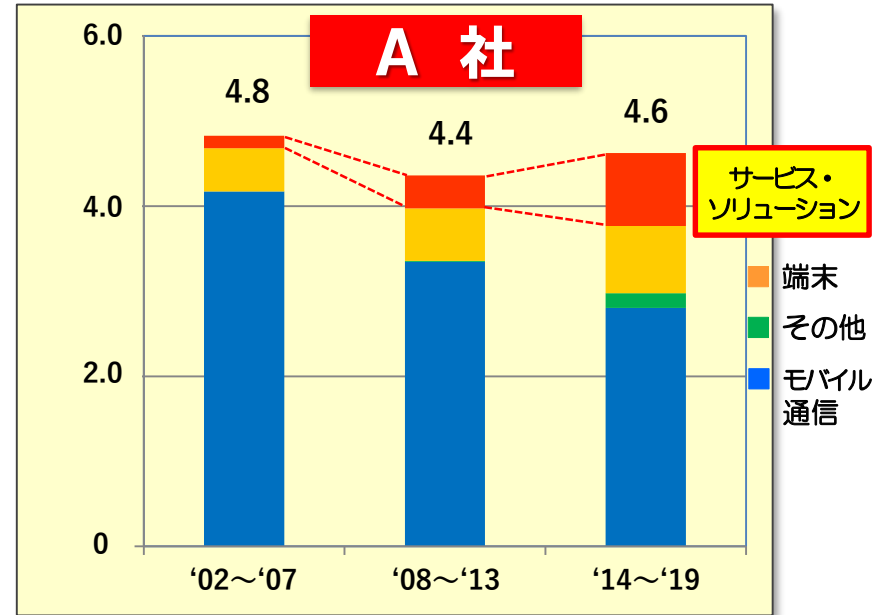
(キャリア設備投資額の推移) (単位：億円)



※各期間の平均額を百億円単位で四捨五入

■ キャリア各社はサービス・ソリューション事業へシフト

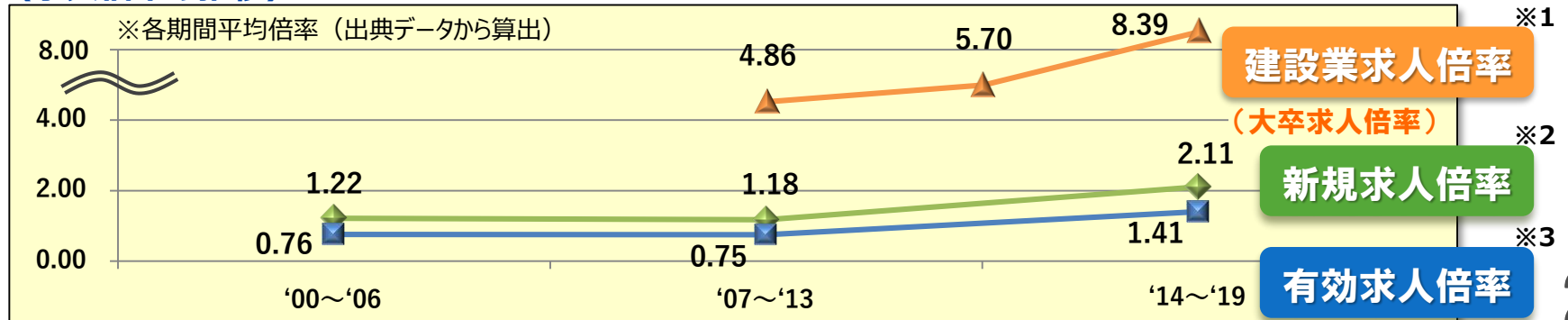
(キャリア営業収益構造の推移) (単位：兆円)



※各期間の平均額を千億円単位で四捨五入

■ 特に建設業界は厳しい人手不足

(求人倍率の推移)



※各期間平均倍率 (出典データから算出)

(出典) ※1 株式会社リクルート「第36回 ワークス大卒求人倍率調査 (2020年卒)」
<https://www.works-i.com/surveys/adoption/graduate.html>, (参照2020.7.6)
 ※2※3 厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/114-1.html>, (参照2020.7.6)

事業構造の転換

A

ソリューション等
新分野を中核事業へ

B

既存キャリア事業の
利益体質強化



With コロナ

C

経営基盤の強化

- ・ グループマネジメント
- ・ ブランド
- ・ 人財
- ・ 情報システム
- ・ 安全品質

事業構造の転換

「超・通建会社」へ

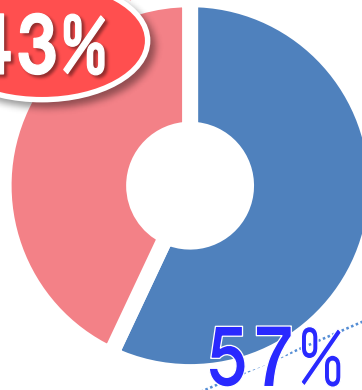
ソリューション事業/
新分野（フロンティア）事業



Bマーケット
企業／官公庁

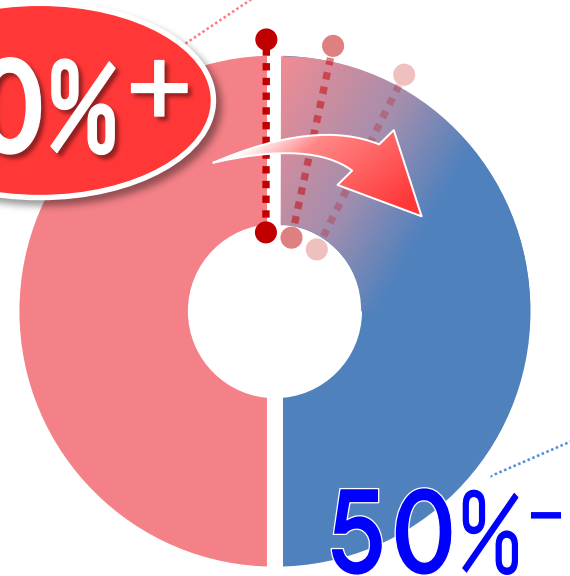
直接営業／チャネル営業

43%



57%

50%+



50%-

通信建設（キャリア）事業



通信キャリア

2013年度

2019年度

2022年度 ~

事業構造の転換

新分野（フロンティア事業）へ拡大

IoT・5G

ミライトグループの強み

「現場力」

「通信屋・電気屋であること」

「ミライトグループ
ならではの“X”」

エネルギー
マネジメント
(EMS)

スマート
シティ
(土木等)



グローバル
エンジニアリング

事業構造の転換

新分野（フロンティア事業）へ拡大





MIRAIT
GROUP

未来の社会インフラ(通信・エネルギー)を
創り・守る、信頼あるグループであり続ける

SDGs

Sustainable
Development
Goals

ESG

Environment
Social
Governance

いい会社

いい仕事

事業



あの会社、
伸びてるね

社員



うちの会社、
働きやすいね

パートナー



あの会社なら、
仕事したいね

ミライトHD / ミライト / ミライト・テクノロジーズ

3社の再編成・合併検討について

— 事業構造転換の加速 —



再編成

STEP 1

2021年度

▶▶▶ ソリューション／新分野(フロンティア)
ワンチーム体制スタート

現在

2021

2022

ワンチーム化

3社合併



再編成

STEP 2

2022年度



ミライトHD / ミライト / ミライト・テクノロジーズ
3社の合併

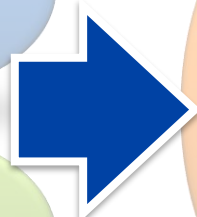
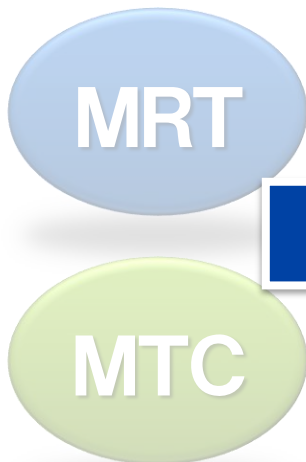
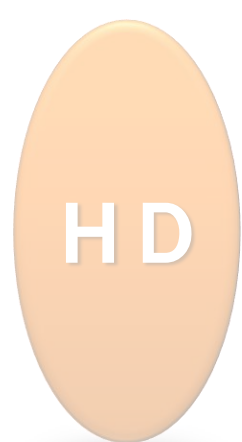
現在

2021

2022

ワンチーム化

3社合併



新分野
(フロンティア)

ソリューション
分野



新統合会社

3社の合併検討の要旨

合併の日程

▶ 2022年度早期

合併の方式

▶ HDを存続会社とする2社の吸収合併

定款変更のため、株主総会決議が必要

3社の再編成・合併の狙い

事業構造転換を加速

ソリューション・新分野(フロンティア)事業を中核事業へ

▶ 早期ワンチーム化(2021年度)

既存事業(固定・移動事業)の利益体質強化

▶ 徹底した効率化と利益最大化

経営基盤強化

▶ オーバーヘッド・共通部門の集約、効率化を徹底

未来への架け橋を つくる まもる



MIRAIT
GROUP

注意事項

この資料における予想数値に関する記述・言明は、当社の現時点での計画、見通しにもとづく将来の予測であります。

諸条件の変化により実際の業績は、本資料の予想とは大きく異なる可能性があります。

従いまして、本資料における予想値が将来にわたって正確であることを保証するものではないことをご承知おき下さい。

株式会社ミライト・ホールディングス